

なくそう

さべつ こころ
差別の心

ひろ

広めよう

かんしゃ

こころ
感謝の心

すとっぷ
STOP!

ころなさべつ
コロナ差別



茨城県教育委員会マスコットキャラクター

「ふれあちゃん」



茨城県人権啓発キャラクター

「ココロちゃん」



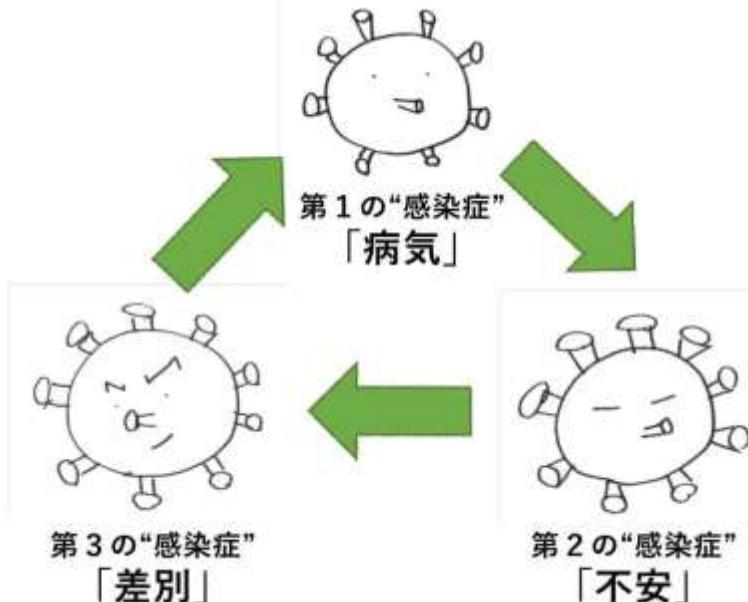
茨城県教育委員会

しんがた 新型コロナウイルスには3つの顔があります

3つの“感染症”は
つながっている

かお

かんせんじょう



ひとりひとりが気を付けてないと
ワタシはこうやって力をつけていくよ…

この感染症の怖さは、
「病気」が「不安」を呼び、
「不安」が「差別」を呼び、
「差別」が更なる「病気」
の拡散につながることです。

月 日 曜日 日曜

月 日 曜日 日曜

見えないウイルスへの不安から生じる差別や偏見を受け、悲しみ、苦しんでいる人たちがいます。



がっこう ともだち せき
学校で友達が咳をしたら「コロナだ！」と大声で言っている人がいました。
どうしたらよいですか？

ことば い ともだち かな おも じぶん い
その言葉を言われた友達はきっと悲しかったと思います。「自分が言われたら
どう思う？」と声をかけてみましょう。勝手な判断で騒いではいけません。



ともだち おや ひょういん つと
友達の親が病院に勤めています。「コロナがうつるから、その友達に近づかな
い方がいいよ」と言っている人がいるのですが、どうしたらよいですか？

いしゃ かんごし など かんじや いのち すく かんせんたいさく じゅうぶん
お医者さん、看護師さん等は、患者さんの命を救うために、感染対策を十分
に行なった上で一生懸命働いています。頑張っている人、その家族を、偏見
めみ かたがた かんしゃ おうえん たいせつ
の目で見ることなく、そういう方々に感謝し、応援することが大切です。



かんせん げんき とうこう ともだち ころな
感染したけれど、元気になって登校してきた友達に「コロナがうつるから
ちかよ こころな ことば ひと
近寄るな」と心無い言葉をかける人がいます。どうしたらよいですか？

とうこう いしゃ なお ほか ひと
登校できたのはお医者さんが「治ったので、もう他の人へはうつらない」と
い言ってくれたからです。友達は何も悪くありません。感染したことで「何か
い言われてしまうのではないか」と不安に思っているかもしれません。やさし
ことば
い言葉をかけてあげたいですね。



なぜ このような事が 起きるのでしょうか。

わたし

私たちは どうすれば いいのでしょうか。



差別の心をもたないためには、正しい情報をもとに考えることが大切です。うわさ話やデマなどに振り回されず、相手の立場に立ち、思いやりをもって行動しましょう。

新型コロナウイルスの事で、いじめたり、仲間外れにしたりする事は、絶対にいけません。



もしも差別を受けたり、見かけたりしたら…



一人で悩んだり抱えこんだりせずに、友達やお家の方、学校の先生など近くの大人に相談して、差別をなくすためにどう行動するのがよいか、一緒に考えてていきましょう。

電話相談窓口【いじめ・体罰解消サポートセンター】

県央：029-221-5550 県北：0294-34-4652 鹿行：0291-33-6317

県南：029-823-6770 県西：0296-22-7830

(受付) 平日の午前9時～午後4時30分 (火・木・金は午後6時30分まで延長)

※令和3年4月から変更の可能性があります。